

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん さっぽろこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 札幌交響楽団		https://www.sso.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 宮口宏夫		
制作団体所在地	〒 064-0931	最寄り駅(バス停)	札幌市営地下鉄南北線『中島公園』
	札幌市中央区中島公園1番15号(札幌コンサートホール内)		
電話番号	011-520-1771		
ふりがな 公演団体名	さっぽろこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	札幌交響楽団		https://www.sso.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 宮口宏夫		
公演団体所在地	〒 064-0931	最寄り駅(バス停)	札幌市営地下鉄南北線『中島公園』
	札幌市中央区中島公園1番15号(札幌コンサートホール内)		
制作団体 設立年月	昭和36年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 宮口宏夫 副理事長 田中良治、箱石文祥 専務理事 荒木太郎 他理事16名/監事2名/評議員20名		名誉音楽監督 尾高忠明 友情指揮者 広上淳一 正指揮者 川瀬賢太郎 首席客演指揮者 下野竜也 入団条件:一般公募のオーディションを実施。楽団員過半数の賛成票を得た者について選考委員会で協議、理事会決定により加入。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	事業部 種池純子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	総務営業部 櫻田千恵
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	taneike@sso.or.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1961年7月に札幌市民交響楽団として発足。翌年3月には財団法人札幌交響楽団となり、2009年10月に公益財団法人へ移行。北海道唯一のプロオーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれる。2021年に創立60周年を迎え、より多くの道民に愛されるべく意欲的な活動を続けている。</p> <p>現在2名のコンサートマスターを含む75名の楽団員が在籍。年間約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。60年の歴史の中では50周年のヨーロッパツアーなど節目ごとに海外公演を行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。</p> <p>歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ポンマー、ラドミル・エリシュカ、マティアス・バーメルトなどが務め、現在は名誉音楽監督尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎を擁し、2025年4月からエリアス・グランディを首席指揮者に迎える。</p>				
<p>学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●札幌市内全小学6年生を対象とした音楽鑑賞教室「Kitaraファーストコンサート」 (札幌市主催/年間11公演) ※平成16年度より継続実施、年間約20,000名が参加 ●北海道内各地での小中学生を対象とした音楽鑑賞教室 (各自治体、教育委員会主催/北海道内8市町村) ●高等学校主催の芸術鑑賞会 (高校との共催で実施) <p>そのほか、吹奏楽部員向けの楽器講習会、ワークショップ等を毎年多数実施しています。</p>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2004年以降毎年継続して、北海道内各地の特別支援学校でのアンサンブルコンサートを実施しています。(北海道教職員互助会助成事業)</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://kodomogeijutsu.go.jp/video/music/c24.html</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 札幌交響楽団】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	みんなのオーケストラ ～アニマル・ファンタジー～			
企画のねらい	クラシック音楽にあまり馴染みのない児童・生徒に「オーケストラコンサートは楽しいもの」と感じていただくために、まずは誰もがどこかで耳にしたことのあるメロディーを取り入れました。更に、作曲家が作品で表現していることよきを感じられるように、みなさんにとって身近な「動物たち」をテーマにした楽曲でプログラミングしています。 森や草原、湖で生きる様々な動物たちの姿を自由に想像し、音楽を通して自然や命の素晴らしさを感じてもらえるように願っています。			
演目概要・演目選択理由	皆さんがどこかで聴いたことのある楽しいメロディーを、「動物」をテーマにセレクトしました。勇壮に駆ける馬の足並み、美しい白鳥がはばたく姿、森で聞こえる小鳥たちのさえずり、ぶんぶん飛び回る蜂の羽音など、想像力を刺激するプログラムです。また、オーケストラを構成する楽器をひとつずつご紹介しますので、目の前で見て、音を聴いて、クラシック音楽を身近に感じてもらうように構成しています。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	★オーケストラに参加しよう！ ①ポルカ「クラブフェンの森で」の中で、かっこう笛の「ポッ・ポー」の音を、カッコウ笛(またはリコーダー)と一緒に演奏して頂きます。 ②「ワルツィング・キャット」のクライマックスで登場する犬の鳴き声を児童・生徒に担当して頂きます。 ★訪問校校歌 訪問校の校歌をオーケストラ伴奏で合唱して頂きます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10～30名(合唱は全校生徒)	
		鑑賞人数目安	50～300名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	♪ロッシェーニ／歌劇「ウィリアム・テル」序曲より“スイス軍の行進” ＜楽器紹介コーナー＞ ♪チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」より“情景”“4羽の白鳥の踊り” ★オーケストラに参加しよう！①～J.シेटラウスⅡ／ポルカ「クラブフェンの森で」 ♪リムスキー＝コルサコフ／熊蜂の飛行 ★オーケストラに参加しよう！②～アンダーソン／ワルツィング・キャット ♪マンシーニ／仔象の行進 ♪訪問校校歌 ♪ディズニーソング・メドレー (パロック・ハウダウン～ミッキーマウス・マーチ～小さな世界～レット・イット・ゴー～チム・チム・チェリー～ビビディ・バビディ・ブー～星に願いを～ホール・ニュー・ワールド～美女と野獣～パート・オブ・ユア・ワールド) 公演時間 約 75 分			
出演者	指揮とお話:松本宗利音 管弦楽:札幌交響楽団(2管10型) ※別添メンバーリストあり			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	指揮者:松本宗利音 1993年大阪府出身。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業(最優秀賞:アカンサス賞受賞) 指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の各氏に師事。 2019年4月から2022年3月まで札幌交響楽団指揮者			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 59 名 スタッフ: 10 名 合計: 69 名	運搬	積載量: 10 t 車長: 12 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	9:00~11:00		14:00~15:15	無	15:30~17:00	17:30

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月
	3日			
	10月	11月	12月	1月
		6日		4日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計



ステージ上とフロアを使用して演奏スペースとしています。
 ※演奏スペースに必要な広さ 間口約16m、奥行き 約9m
 ※体育館の広さ、児童生徒数によって、設置場所や方法は調整いたします。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



本公演開演前に、ワークショップメンバーと再会！



体育館後方からも鑑賞しやすいように、持ち込みのプラットフォームを使ってステージを作ります。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	ディズニー・ソング・メドレー
	該当事項がある場合	権利者名 直江香世子	許諾確認状況	採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 札幌交響楽団】

ワークショップのねらい	<p>*演奏者ひとりひとりが集まって「オーケストラ」という団体が構成されていることを知ってもらいたい 演奏者個人に親近感を持っていただき、そこから演奏者の技術やクラシック音楽への興味につなげていくように心がけています。また、アンサンブル演奏の鑑賞、オーケストラの活動についてお話しすることで、自己表現とコミュニケーションの両面について重要性を伝えることを目指します。</p> <p>*自身の将来を考え、夢に向かって努力することを伝えたい 演奏者は、自身がこどもの頃から大好きなことに長く取り組み、たゆまぬ努力を続けて職業としています。彼らの経験を通して、児童・生徒が将来に希望を持ち、夢を実現する力を養ってもらいたいと考えます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50～300名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【実施形態】 参加児童・生徒には、体育館や多目的スペースなど、広い会場に集まっていただき実施いたします。 演奏者は、ステージ上ではなく、参加児童・生徒と同じフロアで、近い距離での演奏やお話しをいたします。</p> <p>【内容】 *アンサンブル演奏や各奏者のソロ演奏を鑑賞、様々な楽器の歴史とその構造、オーケストラでの役割などをレクチャーし、オーケストラやクラシック音楽に親しんでいただきます。 *演奏とリズム体験を通して、音楽を構成する要素について学びます。 同じ曲を、早さや拍子、長調と短調などを変化させて演奏し、全く違う印象になることを感じていただきます。 *様々な楽器で「動物を表現した曲」や「動物の鳴き声」を演奏、クイズ形式で音の表現とそのイメージについて考えます。 *本公演でのオーケストラ演奏参加の練習をします。(リコーダーでのカッコウ、犬の鳴き声) *本公演でオーケストラと合唱する「校歌」の歌詞の意味を読み取り、自身の学校や地域の素敵などところを改めて見つめなおし、感謝の気持ちを持って生活することの大切さを伝えます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>*対象人数や学年は問いません。 *実施校のご都合に合わせて、実施時間や内容を調整いたします。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

札幌交響楽団

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>2024年は、パリ五輪の開催や大谷翔平選手の活躍など、国際的に華やかなニュースに心浮き立つ一方で、戦争とその危機は続き、日本国内では大きなや事故や災害に多く見舞われた年となりました。</p> <p>社会の混乱と悲しみに対峙する時、我々音楽団体は無力感に苛まれながらも、自分たちに何かできることはないかを考えます。音楽によって人々の悲しみを癒し、未来に希望を持つ勇気を支えたい。物質的な復興には関われなくても、音楽には人の心を動かす力があると信じて、支援の輪に加わり、広げることを目指しています。</p> <p>もちろんそれは危機的な状況下に限りません。音楽が人々の暮らしにとって必要なものだとして認識されることが、我々の存在意義の指標であり、活動の礎になっています。いくつもの災害やコロナ禍を経て、自らの存在意義を問う機会が増えたと感じています。</p> <p>創立から60年を超えた札幌交響楽団は「演奏の質の向上」「地域への貢献」「教育への参加」という3つの柱を理念として、活動を続けています。</p> <p>プロフェッショナルの演奏団体として、常に演奏の質の向上を目指し、努力を続けることは当然のことですが、社会的な評価が楽団の存在価値に影響することもまた真理です。地域社会の誇りとしてその存在を示すことにより、一層多くのお客様が公演に足を運んでいただけるようになる。そしてそのことがまた楽団を向上させてくれる。ひとつひとつの理念とその実行力がリンクし、循環していくと考えます。</p> <p>特に教育に関して、幅広く音楽を聴く機会を提供すること、また未来を担う青少年に、音楽を通して自らが得た知見を提供することは、我々の重要な責務だと考えます。そしてその責務を果たすためには、コンサートホールでの公演だけでは不十分でしょう。</p> <p>当団は以前から演奏者が学校に出向いて演奏したり、教育委員会と協調してのワークショップや楽器指導の講習会を多数実施してきました。そのノウハウと理念は、本事業に合致するものであり、事業実施に役立つものと考えます。</p> <p>多様性の時代とよく言われますが、個人の感性を大事にするのはとても健全なことです。しかしながら、正しい知識を授け、社会性を持てるように教育することも必要とされる学校教育の現場では、その対応に苦慮する部分もあることでしょう。</p> <p>「音楽」には正解、不正解はありません。それぞれの感性で、その時感じたままに、楽しむものです。我々は、自らの実践を通して得た多様性を示し、楽しむための知識や技術を伝えることができます。</p> <p>児童・生徒が楽しみながら知識と教養に触れ、創造性を育み、心豊かに生活できるようなプログラムを目指し、事業に取り組んでまいります。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>本事業は、学校を会場とすることはもちろん、事業実施のためのスケジュール調整など、開催校のご理解とご協力がなにより重要です。ご担当の教職員の方に専門的な知識のない場合もあるので、まずは教職員の方に楽しみにしてもらえらるるよう、丁寧なコミュニケーションを心がけます。</p> <p>* 学校長へのご挨拶、ご担当の教職員への事業実施予定の確認をお電話で、その後資料のやりとりのため、メールでのご連絡を細やかにいたします。</p> <p>オーケストラは出演人数が多く、楽屋の確保、楽器搬入や舞台の設置と鑑賞スペースなど、様々な確認が必要になります。</p> <p>* 開催校になるべくご無理をかけないように、詳細な資料を用意して慎重にご相談を進めます。</p> <p>ワークショップから本公演までの期間があくことがあります。</p> <p>* ワorkshop実施後、アンケートや質問をいただいたり、SNSでの情報発信等で、本公演への期待感を持続させるように交流をいたします。</p> <p>本事業では公演地と団体拠点が遠隔地であることも多いので、地域間の交流も大切にしたいと考えます。お互いの住む街をご紹介しますことで、より興味をもって事業に参加して頂けるように努めます。</p>
--	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	札幌交響楽団】
No.2別紙 メンバー表		札幌交響楽団	<p>【コンサートマスター】 会田 莉凡 田島 高宏</p> <p>【1stヴァイオリン】 飯村 真理 赤間 さゆら 井上 澄子 岡部 亜希子 河邊 俊和 高木 優樹 竹中 遥加 ディパスクアーレ・ヴィンチェンツォ 橋本 幸子 三原 豊彦</p> <p>【2ndヴァイオリン】 桐原 宗生 小林 美和子 熊谷 勇大 佐藤 郁子 多賀 万純 鶴野 紘之 土井 奏 富田 麻衣子 中村 菜見子 福井 岳雄 山下 暁子</p> <p>【ヴィオラ】 廣狩 晃 青木 晃一 荒木 聖子 鈴木 勇人 仁木 彩子 橋本 純一郎 樋本 朱音 原 佳奈恵 物部 憲一</p> <p>【チェロ】 石川 祐支 猿渡 輔 荒木 均 小野木 遼 角野 友則 武田 芽衣 廣狩 理栄 横山 桂</p> <p>【コントラバス】 吉田 聖也 稲橋 賢二 飯田 啓典 大澤 敬 斎藤 正樹 下川 朗</p> <p>【フルート】 川口 晃 福島 さゆり</p> <p>【オーボエ】 関 美也子 浅原 由香 宮城 完爾</p> <p>【クラリネット】 三瓶 佳紀 白子 正樹 原田 侑來</p> <p>【ファゴット】 坂口 聡 夏山 朋子 村上 敦</p> <p>【ホルン】 山田 圭祐 土谷 瞳 岩佐 朋彦 島方 晴康 折笠 和樹 花澤 良平</p> <p>【トランペット】 福田 善亮 籠谷 春香 小林 昌平 佐藤 誠</p> <p>【トロンボーン】 山下 友輔 中野 耕太郎 田中 徹 澤山 雄介</p> <p>【チューバ】 玉木 亮一</p> <p>【打楽器】 入川 奨 大家 和樹 大垣内 英伸</p> <p>【ハープ】 エキストラ奏者</p> <p>※上記は在席する楽団員のリストです。出演者は調整の上決定します。(2024/9/30現在)</p>